

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川太田川水系三篠川災害復旧助成事業に係る詳細設計業務（その2）

事業名 または 工事名 一級河川太田川水系三篠川災害復旧助成事業に係る詳細設計業務（その2）

調査目的及び調査対象 河川 地上水路

ボーリング名	No.3(4工区 LN0.2+15)	調査位置	広島県広島市安佐北区白木町秋山地内、小越地内、市川地内			北緯	34° 33' 9.5331"			
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	2020年 7月 27日 ~ 2020年 7月 30日		東経	132° 39' 37.7520"		
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	T.P. 118.20m	角			方位			地盤勾配		
総削孔長	7.00m	度			使用機種	東邦D-1B(58)		エンジン	ヤンマー-NFD-13	
						ポンプ		東邦BG-3B		

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試験採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日			
												深	100mm ごと	打撃	50	自沈							
1	117.30	0.90	雑混じりシルト質砂	SM-G	暗灰					深分はφ=30mm程度の亜円~円礫を10%程度含む。砂分は粗~中粒砂主体。シルト分優勢の部分と互層状。	7/27	15	1.15	5	5	5	15	300	1.15	P-3-1	○	密度・含水・粒度	7/27
2	115.55	2.65	砂質礫	GS	黄褐	中位密				深分はφ=30mm程度の角~円礫が主体であり、概ね均一に分布する。砂分は粗粒砂が主体。	7/27	63	2.39	13	30	7	50	240	2.45	P-3-2	○	密度・含水・粒度	7/27
3			玉石混じり砂質礫	GS-B	暗黄褐~灰褐	rd4			完新世	深度2.65m, 5.40m, 5.60m, 6.60mに硬質な玉石を混入。玉石の最大長はl=250mm。深分はφ=50mm程度の角~円礫を主体とし、花崗岩起源の脈れ礫を含む。深度5.85mに円礫を含む。砂分は粗粒砂主体であり、深度3.00m付近では砂分が優勢となる。部分的にシルト分を10%以下含む。	7/27	47	3.45	11	11	25	47	500	3.45	P-3-3	○	密度・含水・粒度	7/27
4											7/27	79	4.34	19	31	50	190	4.44	P-3-4	○	密度・含水・粒度	7/27	
5											7/27	65	5.00	16	24	10	50	230	5.00	P-3-5	○	密度・含水・粒度	7/27
6											7/27	107	6.00	33	17	40	50	140	6.00	P-3-6	○	密度・含水・粒度	7/27
7	111.20	7.00									7/27	75	7.00	25	25	50	200	7.00	P-3-7	○	密度・含水・粒度	7/27	